

学会だより

◇ 幹事会議事録

日時：2012年9月13日（木）午後3時～5時20分

場所：京都産業大学 15号館 15102 セミナー室

参加者：阿部純・加藤清明・三上哲夫・笹沼恒夫・横井修司・千田峰生・中村俊樹・西尾剛・石本政男・江面浩・岩永勝・山本俊哉・木庭卓人・佐々英徳・房相佑・岩田洋佳・川上直人・堤伸浩・北野英己・犬飼義明・野々村賢一・岩崎行玄・奥本裕・宅見薫雄・斎藤大樹・寺石政義・加藤謙司・佐藤和弘・辻本壽・熊丸敏博・一谷勝之・近藤勝彦・山岸博・大坪憲弘・友岡憲彦・有村慎一・福岡修一・吉村淳・奥野員敏・片山健二（40名）

委任状：原田竹雄・大澤良・勝田真澄・矢野昌裕・高溝正・平野久・松岡信・坂井真・松田靖（9名）

総計 49名

各常任幹事からの経過報告後、下記の議事が行われた。

(1) 平成24年度日本育種学会賞選考について

受賞候補者氏名：佐藤和広（岡山大学資源植物科学研究科）

受賞候補者氏名：三位正洋（千葉大学大学院園芸学研究科）

学会賞等選考委員会、幹事会の議を経て、以上の2件を選定した。

(2) 平成24年度日本育種学会奨励賞選考について

受賞候補者氏名：宇賀優作（農業生物資源研究所農業生物先端ゲノム研究センター）

受賞候補者氏名：内藤健（農業生物資源研究所遺伝資源センター）

受賞候補者氏名：久保貴彦（国立遺伝学研究所系統生物研究センター）

学会賞等選考委員会、幹事会の議を経て、以上の3件を選定した。

また、名誉会員5名の推戴について、編集委員の辞退と推薦について、平成25年度秋季大会（第124回講演会・第55回シンポジウム）開催地について議論され、了承された。

◇ 第122回講演会日本育種学会優秀発表賞

2012年日本育種学会秋季大会（第122回講演会）における日本育種学会優秀発表賞が下記の22課題に決定されました。

講演番号 104: MutMap法を用いたイネいもち病真性抵抗性遺伝子 *Pii* の候補遺伝子の同定 ○高木宏樹^{1,2}・阿部陽¹・八重樫弘樹¹・夏目俊^{1,2}・三岡周子¹・寺内良平¹ (1. 岩手生物工学研究センター, 2. 岩手大・院連合農学研究科)

講演番号 507: HD-ZIP1型転写因子の機能分化によるオオムギ側列小花の発達抑制 ○佐久間俊^{1,2}・Pourkheirandish Mohammad¹・Goetz Hensel³・Jochen Kumkehr³・Nils Stein³・Thomas Wicker⁴・田切明美¹・金森裕之¹・松本隆¹・山地直樹⁵・馬建鋒⁵・小松田隆夫¹ (1. 生物研, 2. 千葉大院園芸, 3. IPK, 4. チューリヒ大学, 5. 岡大資生研)

講演番号 417: トマト果実分化機構解明に向けた新規遺伝資源開発 ○有泉亨¹・木村あかね¹・羽尾周平¹・森一樹²・江面健太郎¹・岡部佳弘¹・篠崎良仁¹・増田順一郎¹・鈴木稜³・斎藤岳士⁴・久原哲²・青木考⁵・江面浩¹ (1. 筑波大学院・生命環境系, 2. 九州大学院・農学研究科, 3. 東京大学院・新領域創成科学研究科, 4. 明治大学研究・知財戦略機構, 5. 大阪府立大学院・生命環境科学研究科)

講演番号 201: 多器官大型化突然変異遺伝子の同定 ○内藤健¹・平野久美¹・加賀秋人¹・白澤健太²・磯部祥子²・友岡憲彦¹ (1. 農業生物資源研究所, 2. かずさDNA研究所)

講演番号 314: 個体発生過程におけるイネトランスポゾン *mPing* の転移時機 ○寺本翔太・築山拓司・寺石政義・谷坂隆俊・奥本裕（京都大学大学院農学研究科）

講演番号 519: イネの *japonica-indica* 品種間において juvenile-adult 相転換期の分化に関与する QTL の同定 ○吉川貴徳・荒川恵理・松原健一郎・伊藤純一・長戸康郎（東大院農生命科学）

講演番号 P050: NAM型転写因子 OsNAC34 のイネのスベリン生合成への関与 ○西内俊策¹・渡邊宏太郎¹・塩野克宏²・植田（間山）智子³・光田展隆³・高木優⁴・市川裕章³・中園幹生¹ (1. 名大・院生命農学, 2. 福井県立大, 3. 農業生物資源研, 4. 産総研)

講演番号 P104: RAD-tag解析法によるイネ Recombinant Inbred Lines (RILs) のゲノムワイドな多型解析 ○音川俊太郎¹・阿部陽²・寺内良平²・松村英生³ (1. 信大院理工, 2. 岩手生工研, 3. 信大遺伝子)

講演番号 106: イネトランスポゾン *mPing* の転移を活性化する染色体領域の同定 ○吉田由梨¹・築山拓司¹・門田有希²・寺石政義¹・谷坂隆俊¹・奥本裕¹ (1. 京大院農, 2. 岡山大院環境生命科学)

講演番号 401: 日本イネ育種におけるゲノミックセレクションの有効性：シミュレーション研究による評価 ○矢部志央理¹・山崎将紀²・江花薫子³・岩田洋佳¹ (1. 東大・院農学生命科学, 2. 神戸大・院農付属食資源教育センター, 3. 生物研)

講演番号 116: ISBP (Insertion Site Based Polymorphism) を用いたコムギ 6B 染色体特異的マーカー開発と評価 ○金子聡子¹・阿部千香子²・早川克志²・小林史典³・半田裕一³・田中剛³・坂井寛章³・伊藤剛³・大野良子⁴・宅

見薫雄⁴・那須田周平¹ (1. 京大院・農学, 2. 日清製粉株式会社, 3. 農業生物資源研究所, 4. 神戸大院・農学)
講演番号 312: ペチュニア形質転換体における長期間の育成により誘導されたコサプレッションからの復帰
 ○河西めぐみ・金澤章 (北大院農)

講演番号 715: コムギの根における通気組織形成と過湿ストレス耐性の評価 ○山内卓樹¹・渡邊宏太郎¹・高橋宏和¹・安倍史高²・川口健太郎²・小柳敦史²・中園幹生¹ (1. 名大・院生命農学, 2. 農研機構作物研究所)

講演番号 117: コムギ 6B 染色体の Radiation Hybrid (RH) マッピング ○渡邊将太¹・新田みゆき¹・石川吾郎²・斎藤美香²・中村俊樹²・新畑智也³・遠藤隆¹・那須田周平¹ (1. 京大院・農, 2. 農研機構・東北農研セ, 3. 日本製粉中研・生物科学研)

講演番号 520: イネの juvenile-adult 相転換に関わる PRECOCIOUS 遺伝子の同定と解析 ○磯野美也子・松原健一郎・伊藤純一・長戸康郎 (東大農学生命科学)

講演番号 718: RNA-sequence 法を用いたハクサイ品種間 (S11×R09) 特異的 NBS-LRR モチーフ遺伝子の探索 ○清水元樹^{1,2}・江部裕介¹・藤本龍¹・川邊隆大³・Hua Ying⁴・加治誠³・Elizabeth Dennis⁴・岡崎桂一¹ (1. 新潟大学院自然科学, 2. (独) 日本学術振興会特別研究員 DC, 3. (株) 渡辺採種場, 4. CSIRO Plant Industry)

講演番号 P073: サクラソウ紫花品種にみられる開花期間における花色変化 ○橋本奈々¹・岩科司²・大澤良¹ (1. 筑波大院・生命環境, 2. 国立科博・植物)

講演番号 P090: イネの胚乳のアミロプラストが巨大化する ssg4 変異体の解析 ○松島良¹・前川雅彦¹・藤田直子²・坂本亘¹ (1. 岡山大学資源植物科学研究所, 2. 秋田県立大学生物資源学部)

講演番号 P113: SSR マーカーを用いたシイタケ遺伝連鎖地図の作製と早晩性に関する QTL のマッピング ○花川容子¹・上田祐也²・江頭知奈美²・奥田康仁²・松本晃幸² (1. 鳥取大・院農学, 2. 鳥取大・農)

講演番号 P131: *Brassica rapa* L. における表皮細胞形質の遺伝解析と地理的変異 ○高橋有・横井修司・高畑義人 (岩手大・農)

講演番号 P135: アブラナ科植物における乳頭細胞特異的発現遺伝子群の情報基盤構築 ○大坂正明¹・松田智貴²・藤岡智明²・坂園聡美¹・高橋宏和³・中園幹生³・岩野恵⁴・高山誠司⁴・Yong Pyo Lim⁵・鈴木剛⁶・諏訪部圭太²・渡辺正夫^{1,7} (1. 東北大学大学院生命科学研究科, 2. 三重大学生物資源学部, 3. 名古屋大学大学院生命科学研究科, 4. 奈良先端科学技術大学院大学, 5. 忠南大学, 6. 大阪教育大学自然科学研究専攻, 7. 東北大学理学部)

講演番号 P140: 接ぎ木を利用した内生遺伝子のエピ変異体獲得について ○北條初音・葛西厚史・原田竹雄 (弘前大学農学生命科学部)

◇ 日本育種学会第 122 回講演会選定課題記者会見報告

発表日時: 平成 24 年 9 月 10 日 14:00 ~ 15:15

会場場所: 東大弥生会館アネックス講義棟

出席者: 熊丸敏博, 岩田洋佳

日経新聞社, 日経 BP 社, 時事通信社, 日本農業新聞, 化学工業日報, 科学新聞社, 新農林社から 7 名の記者が参加し, 4 題の課題について記者発表を実施した. 記者会見後に講演番号 201 の課題が日本農業新聞, 科学新聞, 講演番号 209 の課題が信濃毎日新聞, 日本農業新聞, 講演番号 414 の課題が日経産業新聞, 講演番号 P012 の課題が日経産業新聞, 日本農業新聞に掲載された.

- (1) 講演番号: 201 「多器官大型化突然変異遺伝子の同定」
内藤健・平野久美・加賀秋人・白澤健太・磯部祥子・友岡憲彦 (農業生物資源研究, かずさ DNA 研究所)
- (2) 講演番号: 209 「ハクサイ根こぶ病抵抗性遺伝子座 *CRa*」
上野広樹・松本悦夫・有賀大輔・北川哲・松村英生・林田信明 (信大院総研科, 長野野花試, 信大院工研科, 信大遺伝子, 信大応生系)
- (3) 講演番号: 414 「熱帯産野生イネのもつ多げつ性とその発育可塑性を導入した北海道に適應する多収系統の開発」
清水博之・伊藤勇樹 (農研機構北海道農業研究センター)
- (4) 講演番号: P012 「資源作物エリアンサス (*Erianthus arundinaceus*) のバイオマス原料の生産増大に向けた育種戦略」
上床修弘・寺島義文・小林真・安藤象太郎・杉本明・我有満 (農研機構・九州沖縄農業研究センター, 国際農林水産業研究センター, 農研機構・畜産草地研究所)

◇ 地域談話会だより

〈東北地区〉

2012 年 8 月 20 日 (月) に第 7 回東北育種研究集会を秋田県立大学秋田キャンパスにおいて開催し, 53 名の参加があった. 招待講演では秋田でのダイズやイネの育種に関する 2 題「東北地域におけるダイズの育種戦略」菊池彰夫 (東北農業研究センター), 「秋田オリジナル良食味品種ラインナップの育成」川本朋彦 (秋田県農業試験場) について報告され, 活発な議論がなされた. さらに, 学部学生, 大学院生を中心に 23 題のポスター発表がなされ, 東北育種関係者にとって有意義な研究交流の場となった.

研究助成公募の案内

◇ 財団法人タカノ農芸化学研究助成財団 平成 25 年度研究助成対象者募集について

(財) タカノ農芸化学研究助成財団より, 平成 25 年度研究助成対象者募集の案内があった.

公募締切は平成 25 年 3 月 20 日、募集の概要は、以下の通り。

本財団は、農学、特に農芸化学（生物資源等）に関する学術研究を助成し、もって学術研究の発展に寄与することを目的とし設立されました。

本年度も、農芸化学等に関する研究を行っている大学等の研究機関の研究者に対し、研究助成金を交付いたします。特に、若手研究者への助成の枠を設け、今後の当該分野の研究促進に役立ちたいと考えています。平成 25 年度助成対象者は次の要領で募集いたします。

1. 研究分野：(A) 豆類並びに穀類の生産技術（栽培・育種・施肥等）に関する研究 (B) 豆類並びに穀類の品質成分、栄養生理、栄養機能、利用加工技術に関する研究 (C) 納豆菌等微生物の特性・酵素等に関する研究
2. 研究助成対象者：(1) 国内の大学、短大の研究者（大学院生も含む）(2) 国公立並びに独立行政法人等の研究機関の研究者 (3) その他本財団の理事会において適当と認められた研究者
3. 助成金額：(1) 一般研究者（40 歳以上）1 件当たり 100 万円を 7 件程度 (2) 若手研究者（40 歳未満）1 件当たり 50 万円を 6 件程度
※若手研究者は、昭和 48 年 4 月 1 日以降生まれの方
4. 交付時期：平成 25 年 5 月予定
5. 申請手続き方法：財団所定の申請書に必要事項を記入の上、平成 25 年 2 月 1 日から 3 月 20 日（必着）までに財団理事長宛てに郵送して下さい。尚、申請用紙は、タカノフーズ（株）ホームページ <http://www.takanofoods.co.jp/> 内【タカノ財団について】よりダウンロードできます。または、E-mail にお問合せいただけましたら、書類を添付して返信いたします。
6. 申請書請求先及び送付先：〒 3113411 茨城県小美玉市野田 1542（公財）タカノ農芸化学研究助成財団
TEL: 0299-58-4363 FAX: 0299-58-3847
E-mail: tazaidan@takanofoods.co.jp

7. その他：同一研究課題で、他の団体等へ応募され、かつ、本年度重複助成となられた場合には、助成をできない場合がありますのでご注意下さい。

◇ サッポロ生物科学振興財団 2013 年度研究助成について

サッポロ生物科学振興財団より、2013 年度サッポロ生物科学振興財団研究助成公募の案内があった。募集の概要は、以下の通り。詳しくは下記 URL の募集要項を参照のこと。

- ・助成名称 サッポロ生物科学振興財団 2013 年度研究助成
- ・応募期間 2012.11.1 ~ 2012.12.28
- ・実施機関名 サッポロ生物科学振興財団
- ・助成情報が掲載されている URL
<http://www.sapporoholdings.jp/foundation/koubo/index.html>

日本育種学会会員異動(2012.7.21 ~ 2012.10.20)

◇ 普通会員入会：劉瑞芳（北海道）、川又快（茨城）、坪倉康隆（千葉）、MANICKAVELU ALAGU（神奈川）、林田信明（長野）、波部一平（長崎）

◇ 学生会員入会：新國まき、原子淳哉（青森）、秋葉貴文、平脇佳弥（宮城）、稲葉有紀、高橋優利佳（山形）、木村あかね、PULUNGAN SRI IMRIANI（茨城）、柳澤貴秋（千葉）、阿部寛史、江部裕介、川村和隆、佐伯なつみ、濱村紗穂（新潟）、石井隆介、白井利奈、杉田知彦、濱本有希、福永明日美（京都）、梅木一馬（宮崎）

住所変更等

◇ 普通会員：森正彦（北海道）、八田浩一（千葉）、吉田康子（兵庫）、PACHAKIL KALARI THOTATHIL BABIL（沖縄）